










# Material Issues

## 三井倉庫グループの重要課題(マテリアリティ)

当社グループは、「物流から価値を」というグループVISIONのもと、事業活動を通じて新しい価値を創出し、当社グループと社会の持続的成長を実現することを目的として重要課題(マテリアリティ)を特定しました。これらの重要課題の取り組みを推進し、当社グループの事業に関連するSDGsの8つの目標の達成に貢献します。

最重要課題	重要課題	取り組み事項	提供価値とSDGsへの貢献
<p>「物流」という重要な社会インフラを支える企業として新たな価値を創出する</p> <p>提供価値</p> <p>顧客企業の価値向上、人々のQuality of Life向上とともに、持続可能な社会を実現する</p>	<p>01 協創を通じた持続可能で強靱な物流サービスの提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 門前倉庫<sup>*1</sup>の活用によるお客様のニーズへの対応と環境負荷低減の両立</li> <li>● 強靱な現場力に基づく持続可能な輸送サービスの提供</li> <li>● 製造・流通・販売をシームレスにつなぐSCMの最適化</li> <li>● お客様の事業目線に立ったSCMの最適化</li> <li>● 産学連携によるヘルスケア物流サービスの開発</li> <li>● 共同倉庫・共同配送の推進</li> </ul>	<p>経済 社会および顧客企業の経済生産性の向上</p>   
	<p>02 安全、多様性、働きがいのある労働環境の実現</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 働きがいと物流サービスを高める人材育成</li> <li>● 「ホワイト物流」推進運動<sup>*2</sup>への取り組み</li> <li>● 労働安全の推進</li> <li>● 圧倒的な現場力構築の推進</li> <li>● 働き方改革の推進</li> <li>● 時差出勤や時短制度等の活用推進</li> <li>● 感染症・熱中症対策</li> <li>● ダイバーシティの推進</li> </ul>	<p>社会 従業員およびその家族のQOLの向上</p>   
	<p>03 積極的な環境負荷低減による低炭素社会・循環型社会への貢献</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● CASBEE Aランク評価、グリーン経営認証の取得</li> <li>● 省エネ・CO<sub>2</sub>削減への取り組み</li> <li>● 脱フロン化の推進</li> <li>● モーダルシフトへの取り組み</li> <li>● ペーパーレス化への取り組み</li> <li>● グリーンボンド<sup>*3</sup>の活用</li> <li>● 太陽光発電機設置による再生可能エネルギーの普及推進</li> <li>● 環境配慮型パッケージの開発</li> </ul>	<p>環境 社会および顧客企業のバリューチェーンの環境負荷低減</p>   

<sup>\*1</sup> 門前倉庫:顧客工場に隣接した倉庫のことで、必要な時に必要な分だけ原材料等を製造ラインへ投入することが可能。  
<sup>\*2</sup> 「ホワイト物流」推進運動:国内のトラック運転者不足の改善に向け、国民生活や産業活動に必要な物流を安定的に確保する施策を推進する運動。  
<sup>\*3</sup> グリーンボンド:地球温暖化対策など環境問題解決に必要な資金を調達するために発行される債券。

2020年6月発行の第172期報告書でも「重要課題」をご説明しておりますが、本誌で取り組み事項を加え、詳しくご説明いたします。